

令和4年度第4回補助金等審議会記録		記録者	財政課	場 所	本庁舎4階 第二委員会室
実施日	令和4年10月27日(木)		時間	午後3時30分から午後5時15分	
概 要 質 疑 等					
課等名					
事 業 名	委員名	内 容		回 答 ま た は 措 置	
障がい福祉課 15:40～16:05					
神栖市身体障害者福祉協議会	1	団体の構成人員数は95名となっておりますが、どのような方々で構成されているのでしょうか。障がい者だけで構成されているのですか。		障がい者のみで構成されております。以前は身体障がい者のみでしたが、現在は視覚障がい者が7名、聴覚障がい者が6名、言語障がい者が1名、身体障がい者が67名、内部障がい者が9名、精神障がい者が0名、療育手帳を持っている知的障がい者が9名、他1名の計100名で構成しております。そのうち5名が亡くなったため、現在は95名となっております。	
	2	自立に向けた目標年度を令和7年度に設定されておりますが、補助金に頼らず自主財源での運営に向けた取り組みはどのような状況でしょうか。また、会員増強の活動に取り組んでおられますが、進捗状況はいかがでしょうか。		[障がい福祉課] 障がい福祉課や社会福祉協議会の窓口、イベント等で本協議会をPRし、会員の勧誘等を行っておりますが、なかなか会員数が増えていないのが現状です。 令和7年度の自立に向けての自主財源につきましては、会員数が増えない状況であるため、現在の会員からの会費だけで運営費の全額を賄うことは難しいと考えております。	
	3	令和4年度に予定されていた日帰り研修は実施できたのでしょうか。また、参加者の募集は、市内全対象者である3,922名に対し行ったのでしょうか。会員となっている95名のみに行ったのでしょうか。		6月21日に実施し、25名程度が参加しております。 参加者の募集は、会員である95名に対し行いました。	
	4	(意見) 市内全対象者3,922名のうち会員は95名であり、全体の2.4%となっております。会員を増やすために、日帰り研修等の参加者募集を会員以外にも行い、参加してもらった場で会員の募集を行ってみてはいかがでしょうか。チラシを作って窓口で配布するという方法以外にも、工夫して会員数を伸ばす取り組みができるのではないかと思います。		/	
	5	各事業は会員95名だけで企画しているのでしょうか。社会福祉協議会はどのような関わりを持っているのでしょうか。また、社会福祉協議会から団体へ事業等の提案やアドバイスは行っているのでしょうか。			
社会福祉協議会は事務局として活動しており、イベントへの同行や、事務を担っております。事業等については、団体の役員会により会員が自発的に企画しており、必要に応じて社会福祉協議会へ相談しております。デイサービスを利用されている方や働いている方もいるため、事業への参加率は減少していますが、できるだけ自分たちで行うという考えのもとで運営を続けております。なお、事務的なものについては事務局である社会福祉協議会にお願いしております。					

概 要 質 疑 等

課等名

事業名	委員名	内 容	回答または措置
防災安全課 16:05～16:20			
神栖市婦人防火クラブ	1	令和3年度実績報告書にある「火災予防啓発活動」として、4件の活動内容の記載がありますが、その中にある神栖市女性団体連絡会グラウンド・ゴルフ大会では、どのような活動を行ったのでしょうか。	神栖市女性団体連絡会グラウンド・ゴルフ大会につきましては、市内に14ある女性団体との交流を図る目的で参加しております。
	2	市内に14ある女性団体は、どのような団体があるのでしょうか。	JAなめがたしおさい波崎女性部や、はさき漁業協同組合女性部、神栖市読書グループ連合会、神栖市劇団ふれあい文化協議会、みどりの会、神栖市交通安全母の会、神栖市消費者の会等の団体がございます。
	3	神栖市婦人防火クラブはボランティア団体なのでしょうか。本来は行政が行わなければならないことを行っているような団体でしょうか。皆が活発に活動できるような状況を作るために、補助金を活用していただければと思います。	ボランティアとして活動していると考えています。団体独自の活動をしていきたいと考えておりますが、現状は市の防災訓練への協力や、消防署が行う研修などへの参加が主な活動となっております。
	4	団体名称の変更はどのように進めていく予定でしょうか。	社会的にジェンダーレスがうたわれるなか、女性や婦人といった名称は時代にそぐわないのではないかと考えておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により総会が開催できず、名称変更ができない状況にあります。令和4年度の役員会において協議を行い、「神栖市防火クラブ」を名称案としております。令和5年度の総会が開催できれば、総会に諮り名称変更したいと考えております。
	5	会費で運営されており、補助金への依存度は必然的に高くなっているかと思えます。自立に向けた取り組みは難しいとは思いますが、どの様に考えているかお聞かせください。行政のサポートが必要になると思いますので、しっかりとした支援体制をとっていただけるようお願いいたします。	[防災安全課] 団体の活動の中で活動費を確保できるような活動はなく、自主財源の確保のためには会費をあげるしかない状況となっております。しかしながら、会員数が少なく高齢化も進んでいることから、会費を上げるといった判断には至っていない状況にあります。
	6	団体の会員は女性のみなのでしょうか。今後、男性の方が加入する見込みはありますか。	活動をより活発にするために、男性の方にもぜひ加入していただきたいと考えておりますが、今のところ加入希望者はいない状況です。なお、今後男性の加入があった際には、市の女性団体からは退会する必要があります。
	7	各行政区の消防団も、団体と目的を同じくする活動があるのではないかと思います。消防団との繋がりがありますか。	現状そういった繋がりはありませんので、今後、検討していきたいと思えます。

<p>神栖市婦人防火クラブ</p>	<p>8</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業が実施できず、補助金を全額返還したとのことですが、団体の運営に際し経費は一切かからなかったのでしょうか。また、補助金を返還せずに予備費として管理する必要はなかったのでしょうか。</p>	<p>活動が全くできなかったため、事務局と相談のうえ、補助金は全額返還しました。年度でかかった経費については、前年度の繰越金及び会費で賄うことができました。</p>
	<p>9</p>	<p>繰越金が出ないように運営するよう、事務局から指導されることはありますか。</p>	<p>強制的な指導等はありませんが、補助金の申請にあたっては繰越金額も考慮しながら、事務局と相談のうえ申請しております。</p>

概 要 質 疑 等

課等名

事業名	委員名	内 容	回答または措置
文化スポーツ課 16:20～16:40			
神栖市子ども会育成連 合会	1	会員数の減少について、組織を運営していくうえでかなり厳しい状況にあると思います。現状と対策についてお聞かせください。	会員数の減少は厳しい状況です。加入率はR1年度49%、R2年度45%、R3年度40%、R4年度36%と年々減少し、会員数は現在1,800名程度まで減っている状況です。連合会が主催する事業への参加募集に市ホームページや連合会公式Twitterを活用したり、新入生へ勧誘チラシを配布する等の対策を行っているところです。 また、学校によっては新入生や転入生の情報が共有されないことがあるため、学校の先生方へ協力をお願いしたいと思います。
	2	子ども会の組織構成はどのようになっているのでしょうか。	各地域の単位子ども会が基本となり、その上に市子ども会育成連合会、さらに上部組織として県子ども会育成連合会、全国子ども会育成連合会があります。 子ども会は子どもの中から会長を選んで成り立つ組織であり、私たちが普段子ども会として認識しているのは、子ども会の構成員の保護者等からなる育成会を含めたものになります。
	3	子どもの数が少ないといった理由で子ども会がない地域もあるかと思いますが、子ども会の合併等の動きはあるのでしょうか。少子化ではありますが、こういった活動の場はなくさずに続けていって欲しいと思います。	子どもが少ない地域では、子ども会がなくなっているところもあります。また、深芝小学校のように、子どもが多いところでも子ども会がないところもあります。 スマートフォンに没頭し、SNS上で子供たちが繋がっている状況がありますが、こういった対面且つ親の目の届く場所で活動できる場は、確保した方が良く考えております。
	4	市内全対象者1,863人とは、どういう方なのでしょうか。	子ども会に加入している児童の数であり、児童全体の36%となります。

神栖市子ども会育成連 合会	5	<p>子ども会の加入者は、学校によって差があるのでしょうか。 また、子ども会に入らないのはどのような理由からなのでしょうか。</p>	<p>特に転入・転出等が多い地区で加入率の低さが顕著となっております。 子ども会に加入しない理由としては、子どもの学年が上がった時に親が役員をやりたくないという人が多いです。また、実際に活動を体験しないと子ども会活動の魅力が伝わらないということも大きいです。実際に活動に参加すると、新しい友達が出来るとして活動が楽しくなり、続けたい子どももいますが、学年があがるにつれ親が役員の大変さから、子ども会をやめさせてしまうという状況があります。子ども会の会員数の減少により、役員を一度受けてしまうと、子どもが卒業するまでずっと役員をやらなければならなくなっている地区もたくさんあります。例として、深芝小学校区は児童数が500人を超えているにもかかわらず、現在は子ども会が一つもありません。もともとは十数人の会員がいる子ども会が二つありましたが、役員のやり手がなく大変だということで、それまで役員を続けていた方の子どもの卒業に伴い、会自体が消滅しました。息栖小学校区でも、同じ事態が起こりつつあります。 そのほか、行政区のお祭りに子ども会が参加しなかったり、お祭り自体がなくなっていたりする等、活動の場自体がなくなっていることや、活動しても人が集まらないといった理由もあります。</p>
	6	<p>ウォークラリー大会等の事業は、会員個人で参加するのでしょうか。子ども会単位での参加となるのでしょうか。</p>	<p>市の子ども会育成連合会が主催するウォークラリー大会につきましては、コロナ禍前までは子ども会単位で参加募集を行い、子ども会で引率して参加いただいていた。現在は、感染防止のため家族単位で参加してもらっており、コロナ禍前までは200名程度が参加していたところを、令和4年度は参加者数を100名程度に絞って開催しております。</p>

概 要 質 疑 等

課等名

事業名	委員名	内 容	回答または措置
教育指導課 16:40～17:05			
神栖市PTA連絡協議会	1	入会は任意であるとのことですが、入会率はどのくらいなのでしょう。	任意となっておりますが、ほぼすべての方に入会いただいております。
	2	今年度実施予定の主な事業に記載のある、女性ネットワーク委員会、父親委員会について、このような名称で事業を立ち上げた理由はなんなのでしょう。また、今現在は、何名の役員でどのような活動をしているのでしょうか。	女性ネットワーク委員会は、元々は母親委員会という名称で、母親間での研修や交流を目的として立ち上げられたと考えており、県東地区PTA連絡協議会とも繋がりがあります。父親委員会は、平成17年の市の合併をきっかけに、父親同士の委員会を作り交流することで、会の運営を円滑にできるようにする目的で平成18年に立ち上げております。なお、両委員会とも、各学校の単位PTA連絡協議会での活動の延長線上で、役員に出向していただいております。
	3	行政関与の必要性が高い事業であると考えておりますが、例年課題として挙げられている役員の負担軽減への取り組みについて、現状をお聞かせください。	役員の方だけに負担がかかることがないように、理事会や会長会議において協議を行ったり、特定の学校に負担が偏らないように協力しあうなど、負担軽減に取り組んでおります。
	4	市PTA連絡協議会の事務局の設置場所について、考えをお聞かせください。	市PTA連絡協議会といたしましては、事務局を学校ではなく教育委員会に設置していただきたいと考え、要望しております。 [教育指導課] 教育委員会といたしましては、要望は把握しておりますが、任意団体の事務局に人員を割ける状況にないという課題があることや、また将来的には団体に自立を目指していただいているなかで、事務局を教育委員会に置くのは難しいと考えており、活動の中で協力できるところは協力していきたいと考えているところです。
	5	事務局の設置場所については、15年前から問題提起しているところです。会費についても、学校ごとに格差が大きいため、そういったところも整理し、検討していくためにも、ぜひ校長経験のある社会教育指導員の先生方に幹事手当を支給する等して、運営改革や会員の育成をお願いしたいと考えます。ぜひ検討の余地を残していただけたらと思います。	[教育指導課] 教育委員会の課題として持ち帰り、検討させていただきます。
	6	事業の目的に記載されている、単位PTA活動にかかる経費の節減を図るといのは、どのような形で実現されるのでしょうか。	単位PTA連絡協議会が個々で行う活動にかかる経費や資金を、市PTA連絡協議会で一つにまとめることで、削減が図れると考えております。